

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 27 日

Table with columns for 事務事業名 (Project Name), 事業区分 (Project Category), 担当 (Responsible), 政策体系 (Policy Framework), 財務会計上の位置付け (Financial Accounting Positioning), and 予算科目 (Budget Item).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Project Overview) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks and Procedures).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段 (Means), ②対象 (Targets), ③意図 (Intent), and ④-⑥各指標 (Various Indicators) with data for 26-30 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing the trend of input volume (project costs) from 26 to 30 years, including sub-categories like 国庫支出金 (National Treasury Expenditure) and 人件費 (Personnel Costs).

Table showing the internal structure of project costs for 27 and 28 years, including 19 負担金補助及び交付金 (Subsidies and Grants).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 28, 29, and 30 years, including a list of main activities like 市長マニフェスト (Mayor's Manifesto).

事務事業名	いばらきストーンフェスティバル開催助成事業	事務事業No.	50203000543	所属課	商工観光課
-------	-----------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成10年度から筑波山西部地域に集積している石材業の振興を図るため、石材及び石材製品のPRと販路拡大及び産地ブランドの確立を目指して開始された。茨城県・笠間市・桜川市の3市で補助金を支出している(県1,400千円、笠間1,340千円、桜川2,520千円)が笠間市との差額は市内組合の加入者数(羽黒・真壁157社、稲田61社)による。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
来場者アンケートの回答では、概ね好評である。 事業者・行政関係者向けの内覧会アンケートでは9割が肯定的な意見だった。 補助金の額が一番多い桜川市で開催できないのかという声もある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	ストーンフェスティバルを見に来てもらえるようなイベント内容の検討が必要。 また、桜川市の問題として、補助額の見直しも状況によっては行うべきである。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	イベントの目的は「いばらきの石」のイメージアップ、ブランド化であり、桜川市産石材のブランド化にもつながるため、市の政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地場産業である石材業振興のために、補助金を支出し、開催を支援することは妥当である。 また、茨城県と笠間市も補助金を支出している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	イベント内容の見直し等による集客アップにより、真壁・羽黒両産地の更なるイメージアップの余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	いばらきストーンフェスティバルは石材組合連合会と茨城県、笠間市、桜川市から助成金を支出しており、廃止するには県・笠間市との協議が必要である。廃止すれば、県産材をPRする貴重な機会が無くなり、影響は大きい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) →	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	具体的な手段、事務事業名 大和の石まつり開催助成事業 イベントの主旨は似ているため、今後どちらかに統廃合できる可能性がある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	開催補助金は茨城県・笠間市・桜川市から支出しており、実行委員会で負担額を決めている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内の真壁・羽黒の石材組合に加入している石材業者は出展できるため、受益機会は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	本年度来場者数かなり減少しているが、昨年までは「いばらきを食べよう収穫祭」と共催イベントであったが、本年度はストーンフェスティバル単独開催であったためである。 毎年新たな試みが検討されているが、もっと石材の魅力感じてもらえるよう、イベント内容の充実が課題である。																								
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
(6) 事務事業優先度評価結果																										
成果優先度評価結果																										
コスト削減優先度評価結果																										

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>